

PPSA-JC News Letter

2024年5月16日と17日の2日間にわたり、37th Pan-Pacific Surgical Association - Japan Chapterを開催しました。学会テーマを”Don't Place Limits on Yourself”とし、新緑の眩しい北海道大学キャンパス内、北海道大学医学部百年記念館に合計118名の参加者をお迎えしました。本学術集会の開催にあたっては理事長 甲能直幸先生、名誉理事長 草野満夫先生をはじめ、理事の先生方のご協力とご指導を賜りましたこと、誠にありがとうございました。

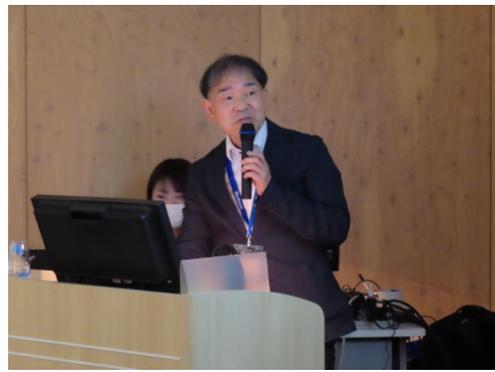


学術集会の前日、5月15日には北海道大学キャンパス内にある「カフェ de ごはん」に Welcome Party を開きました。草野先生に乾杯のご発声をいただき、短い時間でしたが約40名の方が親睦を深めました。

Scientific Program では、11 Session に合計52題の演題発表をいただき、多岐にわたる領域において活発な討論が行われました。特に、発表者の先生方には前方に座席を用意し積極的に討論に参加していただくよう、事前をお願いをしていたこともあり、非常に活発な質疑応答が交わされました。Wada Award には35演題の応募があり、スライド完成度、発表の完成度、質疑応答、総合評価について、web投票システムを併用した厳正な審査が行われました。



また、4人の先生方に Mini Lecture をしていただきました。公立昭和病院初期研修医、中村恒星先生（Title：My Journey to Become a Doctor and My Vision as a Doctor）、慶應義塾大学形成外科准教授、土佐泰祥先生（Title：Advancing Surgical Education: Innovative Video Techniques in Cleft Lip and Palate Surgery）、北海道大学消化器外科 I 講師、市川伸樹先生（Title：Is the Surgery after Preoperative Chemoradiotherapy feasible in Patients with Locally Advanced Rectal Cancer?）、東京医科大学脳神経外科講師、松島健先生（Title：Anatomical and Clinical Research for Safe Skull Base Surgery: A Young Neurosurgeon's Experience in the United States, Germany, and Japan）と、様々な分野から、恐れずに挑戦すること、手術手技の革新を怠らないこと、多様化する治療の中で最善の選択を行う努力を惜しまないこと、日々の臨床現場から見出される clinical question を大切にすることなど、分野の違いを超えて我々外科医にとって重要なことを学ぶ貴重な機会となりました。



President Lecture では、柿田章先生に座長をお願いし、大会のテーマでもある”Don't Place Limits on Yourself”のタイトルで、若手外科医に向けて自らに限界を設けずに様々なことに挑戦し続けてほしいとエールを込めて講演をさせていただきました。また、プログラムの最後に Memorial Lecture として理事長の甲能直幸先生に座長をお願いし、名誉理事長の草野満夫先生に”Memory of Professor of Emeritus Juro Wada as the Founder of PPSA-JC and Wada Award -Half a Century as a Heart Surgeon”と題し、PPSA-JC の歴史、故和田寿郎先生の本会に対する多大な貢献およびそのご意志についてお話しいただきました。その後、Wada Award の表彰式となりました。Gold Prize は北海道大学消化器外科 I から Forgioni 先生、Silver Prize は札幌中央病院循環器外科から對馬先生、Bonze

Prize は癌研有明病院食道外科から高橋先生が受賞されました。對馬先生は表彰式に間に合いませんでしたが、白衣のまま駆けつけてくださり記念写真を撮ることができました。



5月16日の夜、大倉山スキージャンプ競技場の Nouvelle Pousse Okurayama で少し早めの Farewell Party を開催しました。天候は残念ながら雨模様でしたが、小さなお客様も含めて64名の皆様にご参加いただくことができました。甲能理事長の乾杯の言葉に続き、ライトアップされたジャンプ台を眺めつつ、美味しい食事を楽しみ、参加者の皆さんと更に交流を深めました。





閉会に先立ち、次期会長である多賀谷信美先生より 38th Pan-Pacific Surgical Association - Japan Chapter の告知をいただきました。次回はまたハワイ、ホノルルで開催されるとのこと、楽しみでなりません。

無事に2日間の学術大会を終えることができましたのも、参加者・ご発表者の皆様、座長を務めた先生方、理事の先生方、学会本部事務局の宮部彰子様、そして協賛いただいた企業の皆様の温かいご協力・ご支援のおかげです。また、企画・運営につきましては、株式会社コンベンションプラスの高橋賢一郎様、近畿日本ツーリスト株式会社の森田浩司様、株式会社アクトビューローの足立洋様に深く感謝申し上げます。最後に、準備・設営・接遇などに様々な場面で最高のチームワークを発揮してくれた医局員、医局秘書の皆さんにも心から感謝します。

今学術集会が参加者の皆さまにとって、知識と経験の共有の場となり、新たな学びと成長の機会となったことを願っています。今後も PPSA-JC が更なる発展を遂げ、多くの若い先生たちの良き挑戦の場となることを祈念しております。

<Wada Award 受賞者>

Gold Prize

Dr. Agustina Forgioni

(Dept of Gastroenterological Surgery I, Hokkaido University)

Title : Efficacy of ex-vivo generated donor antigen-specific immunomodulatory cells on pancreatic islet transplantation

Silver Prize

Dr. Shingo Tsushima

(Dept of Cardiovascular Surgery, Sapporo Central Hospital)

Title : Initial outcomes of physician-modified inner branched endovascular repair for distal aortic arch aneurysm

Bronze Prize

Dr. Naoki Takahashi

(Dept of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research)

Title : Optimal esophageal margin in esophagectomy for EGJ adenocarcinoma

第 37 回環太平洋外科系学会日本支部学術大会長
北海道大学大学院医学研究員消化器外科学教室 I 教授
武富 紹信